

山口県ブース 出展企業のご案内

小間番号6W-12

植物栽培用白色LED照明 「Finevege」

製品・技術の説明

ナノテク素材の活用で植物工場用LED照明の色温度(波長特性)を制御し、野菜の「美味しさ」を操る技術です。COMM(Chip on Metal Module)形状の採用、熱伝導性の高い機能性放熱素材、反射率の高い表面加工を行うことにより、素子温度を安定化しつつ光の取り出し効率を向上させています。温度による光変換特性の変化が異なる蛍光体を様々に採用し、所望のスペクトルを自由に作り出すことが可能となります。

【お問い合わせ先】

株式会社アグリライト研究所 〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1 山口大学農学部気付
TEL: 083-933-6832 FAX: 083-933-6833



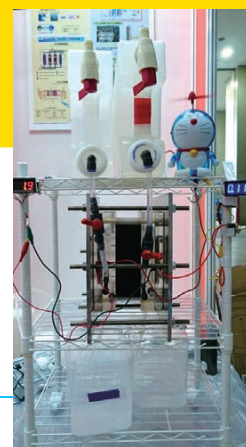
イオン交換膜による濃度差発電システム 逆電気透析 (RED)

製品・技術の説明

海水／河川水などの塩分の濃度差から、イオン交換膜で電気エネルギーを取り出す「逆電気透析」システムを、山口大学 比嘉研究室と共同開発しています。太陽光に比べて、夜中も発電でき、設置面積当たりの発電量が高い点が注目されている再生可能エネルギーです。長期間の実証運転に向け、要素技術の確立を進めています。

【お問い合わせ先】

株式会社アストム 〒745-8648 山口県周南市御影町1-1
TEL: 0834-34-2333 FAX: 0834-33-3679



(会期中ブース内にてデモ装置で実演予定)

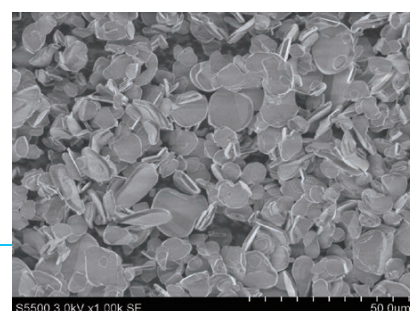
樹脂の熱伝導率向上に寄与する 高熱伝導窒化物フィラー（窒化ホウ素）

製品・技術の説明

還元窒化技術をベースにし、粒径(D50=11 μ m)で、比表面積が小さく、樹脂への充填性に優れた不純物の少ない放熱樹脂用フィラーです。エポキシ、シリコン、ポリイミドなどの樹脂へ充填し、アルミナや窒化アルミニウム等と合わせて配合することで、高熱伝導と高絶縁性を兼ね備えた樹脂製品の開発が可能です。

【お問い合わせ先】

株式会社トクヤマ 〒745-8648 山口県周南市御影町1-1
TEL: 0834-34-2309 FAX: 0834-33-3786



高効率気体溶解装置を用いた新規二酸化炭素 分離・回収・貯蔵技術

製品・技術の説明

イニシャルコスト、ランニングコストともに安価で、二酸化炭素除去効率の高い技術、すなわち、構造が簡単で、分離・除去した二酸化炭素の再利用が難しい化学薬品などを一切用いない、高効率気体溶解装置を用いた新規二酸化炭素回収・貯蔵技術を開発しました。



【お問い合わせ先】

国立大学法人山口大学大学院理工学研究科（今井教授）

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1 TEL: 0836-85-9312 FAX: 0836-85-9601

次世代材料を用いた マグネシウム-硫黄二次電池

製品・技術の説明

高性能かつ高容量マグネシウム(Mg)-硫黄二次電池を実現する材料として、包接構造を有するポリマーゲル電解質と硫黄を化学修飾した有機硫黄ポリマー正極材料を紹介します。これら各材料の組合せにより実現した新規マグネシウム-硫黄二次電池のプロトタイプを紹介します。



【お問い合わせ先】

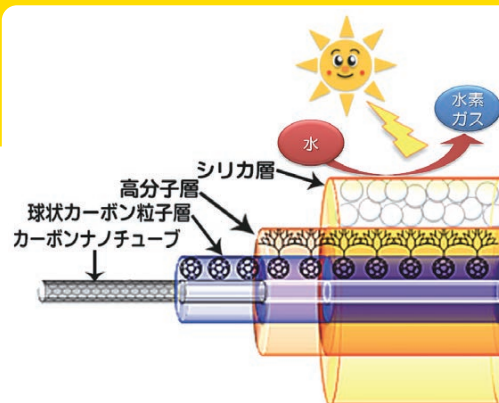
国立大学法人山口大学大学院理工学研究科（堤教授・山吹助教）

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1 TEL: 0836-85-9282/9284 FAX: 0836-85-9201（学科事務室）

カーボンナノチューブ光触媒を 利用した水素製造

製品・技術の説明

カーボンナノチューブをコアに持つ同軸ワイヤー構造を構築する独自技術により、実用化レベルの太陽光利用効率を持つ水素製造光触媒を開発しました。現在、山口大学、山口東京理科大学と共同で、長波長領域活性の向上、および二酸化炭素の炭化水素化合物への変換技術の研究を進めています。



【お問い合わせ先】

国立大学法人岡山大学大学院環境生命科学研究科 高口研究室

〒700-8530 岡山県岡山市津島中3-1-1 TEL: 086-251-8903 FAX: 086-251-8903

お問い合わせ先

■山口県商工労働部新産業振興課

山口市滝町1-1

TEL: 083-933-3150

■公益財団法人やまぐち産業振興財団

山口市熊野町1-10 NPYビル10F

TEL: 083-922-9926

■地方独立行政法人山口県産業技術センター

宇部市あすとぴあ4-1-1

TEL: 0836-53-5061